県立広島大学

日韓の情報家電企業の経営戦略の比較研究及び日本的経営の変遷に関する研究

経営情報学部　経営学科
教授　朴　唯新（ぱく　ゆいしん）

連絡先　県立広島大学　広島キャンパス　1827 号室
Tel　082-251-9826
E-mail　ecventure@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 経営戦略論、MOT（Management of Technology）

キーワード： 情報サービス産業、経営戦略、社会ネットワーク分析、ダイナミック・ケイパビリティ

●現在の研究について

現代企業はグローバリゼーションや人口構成の変化、非マス化などの急激な経営環境の変化に対応するかあるいは変化をもたらすために、自社の内外の経営資源（人・物・金・情報）を活用し、持続的な競争優位（業界で平均以上を収益性）を達成することが重要である。図 1 は企業が保有する経営資源（資源ポジション）が Dynamic Capabilities によって変化していく過程を表わす概念図である。

そのため、具体的な事例研究として、当該企業と協力企業との関係性（資本・取引など）をビジネス・エコシステム（Business Ecosystem）で捉え、日本のパナソニックグループ（図 2 参照）やソニーグループ、韓国の三星グループ、LG グループなどの経営戦略を比較検討している。

図 1 Dynamic Capabilities の概念図

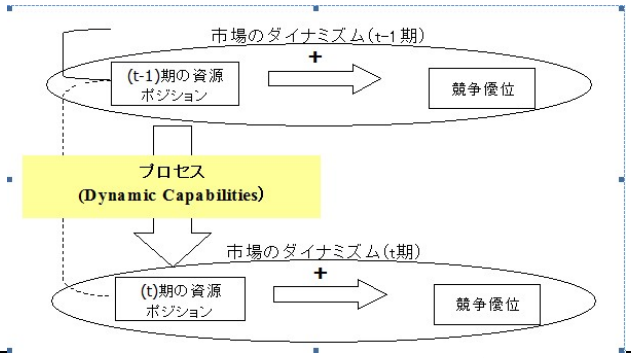
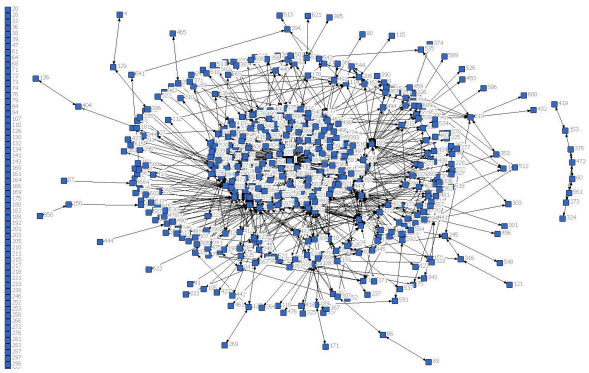


図 2 パナソニックグループの取引関係ネットワーク



●今後進めていきたい研究について

最近の主な研究分野は、社会ネットワーク分析（Social Network Analysis）やテキストマイニング（Text Mining）などの定量的な研究手法を取り入れ、日韓米の ICT 産業と自動車産業において活発なオープン･イノベーションを促進するための健全なビジネス・エコシステム（Business Ecosystem）の在り方について分析している（基盤研究（C））。特に、優良企業がイノベーションを起こしやすい体質に変革するために、企業内外の R&D 組織の在り方やグループ企業などを含む企業間関係の調整と学習について検討している。例えば、日本とアジアの ICT 企業と自動車企業の新たな経営能力の構築などを軸に置きながら、企業の特許情報などを用いて、危機から競争力を強化・発展させていく過程を分析している。

●地域･社会と連携して進めたい内容

上述のように、優良企業は持続的な競争優位を達成するために、急激な経営環境に対応あるいは変化を自らもたらす必要があります。私はこれらの課題について、日夜、研究しています。企業の経営戦略、技術経営（Management of Technology）などの問題について、どうぞお気軽に技術相談下さい。

●これまでの連携実績

朴唯新（その他 3 名）、日韓米の ICT 企業の事業戦略・研究開発戦略の比較検証、科学研究費･基盤研究（C）（2017 年 4 月～2020 年 3）

朴唯新（その他 2 名）、日米韓 ICT 企業の特許戦略：テキスト分析による動態的析出、科学研究費・基盤研究（C）（2014 年 4 月～2017 年 3）

朴唯新、日韓の情報家電企業のビジネス・エコシステムに関する比較研究、科学研究費・若手研究（B）（2011 年 4 月～2014 年 3 月）